

1年P31

例1 加減の混じった計算

(ここで 正の項の和、負の項の和を使うと便利であることを教えておくと良い)

$$-14 - (-29) + (-35) + 11 = -14 + 29 - 35 + 11$$

$$= 15 - 35 + 11 = -20 + 11 = -9$$

これを

$$-14 \mid +29 \mid -35 \mid +11 \quad \text{正の項の和} \quad \text{負の項の和}$$

$$= 40 - 49 = -9$$

問3 「やってみましょう。やり方は自由。」

「式の最初の項は()を省略しても良いことになっています」

(一番楽な方法で、とにかくできることを優先すべきと考える。正の項の和、負の項の和を使う必要が感じられにくいので)

$$(1) 6 - 10 + (-15) = 6 - 10 - 15 = -19 \quad (2) -12 + 8 - (-14) = -12 + 8 + 14 = 10$$

$$(3) 9 - 12 + 7 - 13 = -9 \quad (4) -8 - 4 + (-1) - (-7) = -8 - 4 - 1 + 7 = -6$$

$$(5) -24 - (-15) + (-35) + 24 = -24 + 15 - 35 + 24 = -20$$

自分の言葉で伝えよう

「自分の言葉で伝えようを読んでください」

「けいたさんと、かりんさんのやりかたを自分の言葉で説明してください」

$$-3 + 9 - 5 - 9 = 9 - 17 = -8$$

けいたさんは正の項の和と負の項の和
を使って計算している

$$-3 \cancel{+9} - 5 \cancel{-9} = -8$$

かりんさんは $+9 - 9$ を先に0として
計算している

練習問題 「やってみましょう」 (10分くらい)